

富浜児童館と富岸放課後児童クラブ  
を統合した新たな子育て支援施設に  
ついて（案）

令和8年1月

## 富浜児童館と富岸放課後児童クラブを統合した新たな子育て支援施設について（案）

### 1. 経緯

児童館は、18歳未満のすべての子どもを対象とし、地域において児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操をゆたかにすることを目的としており、放課後児童クラブは、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後等に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図ることを目的としています。

富浜児童館は建築から50年以上経過しており、登別市公共施設等総合管理計画においては、基本的には大規模改修は行わず、老朽化等により施設の維持が困難となった場合は、施設の廃止や他の施設との統合を行うこととする自主点検施設に位置づけられ、適宜、修繕等を実施することで、施設としての機能を維持してまいりました。なお、当該児童館は富岸小学校に近接していないことから、小学校の授業終了後、一旦帰宅せずに直接児童館を利用できる「直接来館」を実施しておりません。

また、富岸放課後児童クラブは、建築から20年以上経過しており、富浜児童館と同様に、登別市公共施設等総合管理計画においては、自主点検施設に位置づけられ、適宜、修繕等を実施することで、施設としての機能を維持してまいりました。

そのため、直接来館が可能であり、保護者の就業によりこどもの居場所が異なることのないよう、新たな子育て支援施設は放課後児童クラブ機能を有する児童館とすることや、将来的な敷地の利活用や施設整備費用など、様々な観点から総合的に検討を進めた結果、富岸小学校敷地内に、富浜児童館と富岸放課後児童クラブを統合した、放課後児童クラブ機能を有する児童館となる新たな子育て支援施設を整備することとし、供用開始後において、富浜児童館及び富岸放課後児童クラブの供用を廃止することとしました。

なお、富浜児童館及び富岸放課後児童クラブについては、建物を含む土地利用のあり方について、検討してまいります。

### 2. 新たな子育て支援施設について

#### (1) コンセプト

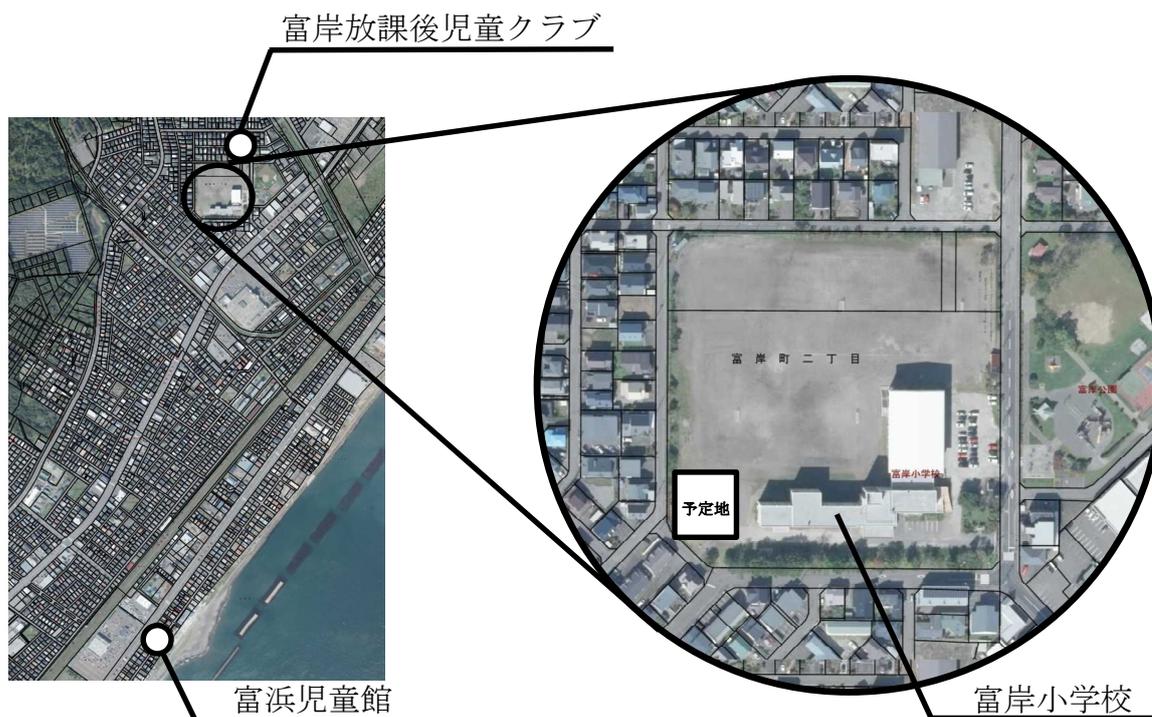
「こどもたちが安心して自由に遊び、過ごすことができる場」

- ・小学校の敷地内に施設を整備することで、直接来館が可能となるため、利便性が高まり児童にとってより安全・安心な放課後の居場所となる施設。
- ・保護者の就業等に関わらず、児童が一つの施設で放課後等を共に過ごすことができる施設。
- ・小学校高学年も放課後の居場所として楽しむことができるよう、楽しみながら体を動かす器材等も整備した施設。

「こどもたちが世代間交流を通じ、社会性を育む場」

- ・遊戯室・図書室・集会室を活用し、児童が参加できる地域（町内会）の催しの開催や児童館イベントへの地域住民の参加など、世代間交流や町内会活動が可能な施設。

## (2) 施設整備予定地



## (3) 現施設との比較

富浜児童館及び富岸放課後児童クラブと比較し、新たな子育て支援施設は、低学年から高学年まで幅広い層の児童が、放課後の居場所として様々な学びや遊びを楽しむことができるよう、建物面積を広めにした建物とします。

また、候補地に接する道路には歩行者用通路がないことから、帰宅時における児童の安全・安心を確保するため、歩行者用通路を設置します。

施設名		富浜児童館	富岸放課後児童クラブ	新たな子育て支援施設
所在地		登別市栄町2丁目 18番地4	登別市富岸町2丁目 23番地15	富岸小学校敷地内
建築内容	建設年度	昭和44年11月	平成11年4月	
	敷地面積	528.00 m <sup>2</sup>	—	—
	建物面積	199.75 m <sup>2</sup>	94.29 m <sup>2</sup>	約530 m <sup>2</sup>
	構造	コンクリートブロック 造平屋建	木造モルタル平屋建	

※建築内容については、新たな子育て支援施設の方向性を示す目安として記載したものであり、今後、市民の声をお聞きし、基本設計・実施設計等において決定します。

## (4) 整備スケジュール（予定）

- 令和8年度 用地測量・地質調査・現況測量・本体基本設計
- 令和9年度 本体実施設計・外構実施設計
- 令和10年度 本体工事
- 令和11年度 外構工事・供用開始

### (5) 建物面積の内訳

新たな子育て支援施設の建築にあたって、遊戯室においては、年長児童でも楽しみながら体力増進を図るため、児童が複数の種目を遊戯室内で遊ぶことができるよう、児童館の面積基準の上限である336.6㎡を超えた児童センター級の建物にします。

また、未来を担う子どもたちが、地域との交流により様々な体験等を通して多くの学ぶ機会を得ることが可能な集会室も設置します。

児童センターは、運動や遊具による遊びなど、特に体力増進にとって効果的な遊びを指導内容の中心として設定するよう示されており、小学校高学年も放課後の居場所として楽しむことができるような施設とします。

設備	面積 (㎡)	用途	最大利用 想定人数	根拠
遊戯室	125.87	児童館	50	1人当たりの面積基準が設けられていないため、幌別児童館において、1日当たりの小学生最大利用人数37人(約14.5%の児童が利用)を参考とします。 供用開始予定である令和11年度の富岸小学校の児童数を約330人と想定し、約14.5%の児童が利用したものとすると、約50人が1日あたりの最大利用人数と想定されます。 敷地内に整備されることに伴い、直接来館が可能となることや、年長児童も放課後の居場所として楽しむことができるよう、面積は広めにしています。
図書室	45.75		20	図書室は机で本を読んだり、学習をするスペースであるため、放課後児童クラブの運営基準である、児童1人につきおおむね1.65㎡で利用人数を換算し、最大利用人数を20人で想定しています。
集会室	45.75		20	児童が体験等を通して様々なことを学ぶ場として利用します。 また、地域の方が利用する貸館時や児童館・放課後児童クラブのイベント時のほか、世代間交流の場としても利用するため、一角に調理可能なコーナーの設置を想定しています。
放課後児童 クラブ室	147.78	児童 クラブ	80	放課後児童クラブの運営基準である、児童1人につきおおむね1.65㎡で利用人数を換算し、最大利用人数をおおむね80人で想定しています。
その他共有 スペース	163.98	ホール・ トイレ等		幌別児童館と同程度を想定しています。
合計	529.13		170	

※各設備の面積や用途については、新たな子育て支援の方向性を示す目安として記載したものであり、今後、市民の声をお聞きし、基本設計・実施設計等において決定します。